

お願い

- 講演スライドには非公開情報が含まれるため、接続先の情報や講演資料（後日配布予定）を参加登録者以外と共有することはご遠慮ください。
- 質疑や議論で発言される際は手を上げる機能を利用し、マイクonに加えて可能であればカメラonをお願いいたします。
- 発言時以外はマイクおよびカメラoffをお願いいたします。
- Zoomの名前はご自身分かる名前をお願いいたします。

第1回気象・気候 計算科学研究連絡会

世話人

足立幸穂（理化学研究所）

小玉知央（海洋研究開発機構）

八代尚（国立環境研究所）

後援

（一財）高度情報科学技術研究機構

背景

- 計算科学分野の急速な発展
 - 日本の気象・気候分野がこの先も恩恵を享受するための情報共有の場の必要性
- 計算科学ロードマップ2021への対応
 - 次世代HPCに向けて、分野としての多様な考えを集約する場の必要性
- 日本気象学会2021年度秋季大会
 - 専門分科会「気象・気候分野における計算科学研究の展望」
 - 5-10年後に達成したい科学目標
 - そのために必要な高性能スーパーコンピュータ・モデル開発のあるべき姿
 - 次世代のモデル開発を担う人材の育成や計算科学分野との連携の必要性
- GCM検討会2022

気象・気候 計算科学研究連絡会

- 日本気象学会へ設置提案中

- 趣旨

- 計算科学研究連絡会では、計算機を活用した気象・気候研究に焦点をあて、シミュレーション・解析・観測データ処理に関わる計算手法や、高性能計算・大規模並列計算・ソフトウェアツールに関する知見などを、計算機を有効活用して個々の科学的課題を解決するための分野横断的な情報交換を推進することを目的とする。
- (要は、気象・気候と計算科学の橋渡し、分野間交流の場)

- 参加資格：特になし

- 研究連絡会：1~2回/年

- website： <https://metsoc-hpc.github.io/>

- ML： metsoc-hpc@ml.riken.jp

- お問い合わせ： metsoc-hpc-core@ml.riken.jp

- MLへの参加、研究連絡会へのご意見、運営への参画希望など

プログラム

※時間は目安です

- 14:00-14:05 「研究会の趣旨」
小玉知央（海洋研究開発機構）
- 14:05-14:35 「各国のトップエンドHPC開発計画と気象気候研究との関わり」
井上孝洋（海洋研究開発機構）
- 14:35-15:05 「国内外の気象・気候シミュレーションモデル開発動向について」
八代尚（国立環境研究所）
- 15:05-15:20 （休憩）
- 15:20-15:50 「次世代先端的計算基盤に関する白書更新版の想定システムとアプリ対応予測」
深沢圭一郎（京都大学）
- 15:50-16:10 「計算科学ロードマップ紹介」
足立幸穂（理化学研究所）
- 16:10-17:00 「総合討論」 小玉知央・八代尚